

山形県議会議員

うめつ ひろし 榎津博士

県政・調査活動報告書

発行／榎津博士事務所 発行責任者／榎津博士
事務所／寒河江市元町三丁目3-3 大和ビル2階
電話／0237-84-7117 FAX／84-7118
URL <http://h-umetsu.jp> E-mail h-umetsu@ic-net.or.jp



若松農林水産部長との対談

現在農林水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、交渉中であるTPPの問題、米政策の大幅な見直しなど大きな転換期を迎えております。このような課題が山積する中で、本県の基盤産業である農林水産業を守りながら、激化する競争に勝ち抜くための戦略などが展開されております。

私は今年度、県議会農林水産常任委員会 副委員長を仰せつかつており、本県の農林水産業が少しでも元気になるよう、現場の声をお聞きし、県執行部と一体となってがんばってまいります。

この度、若松農林水産部長と本県農林水産業の現状や戦略、施策の展開について対談をさせていたしました。

若松農林水産部長との対談

榎津

本年7月9日の明け方から大雨に見舞われ、置賜地域を中心に甚大な被害を受けました。昨年も記録的な豪雨により県全域において大きな被害を受けましたが、迅速な対応と対策をとったことなど、どうぞお聞かせください。

若松農林水産部長

今回の豪雨により、昨年被災し復旧を終えた取水堰や水路など一部の水利施設が全壊するなど甚大な災害が発生しました。これは昨年の豪雨を上回る激しい降雨が主な原因だと考えておりますが、副次的な要因として、森林の保水機能や土砂流出防止機能等が低下していることが考えられます。こうした災害を防止するためには、治山事業をしっかりと推進するところも、健全で公益的機能の高い森林整備を進めていく仕組みも必要であると考えています。

——**今後の農業の施策展開について**——

若松農林水産部長との対談

現在農林水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、交渉中であるTPPの問題、米政策の大幅な見直しなど大きな転換期を迎えております。このような課題が山積する中で、本県の基盤産業である農林水産業を守りながら、激化する競争に勝ち抜くための戦略などが展開されております。

私は今年度、県議会農林水産常任委員会 副委員長を仰せつかつており、本県の農林水産業が少しでも元気になるよう、現場の声をお聞きし、県執行部と一体となつてがんばってまいります。



農林水産常任委員会による今年7月9日の豪雨被災箇所の現地調査



白鷹町荒砥 朝日沢水路／昨年被災し復旧した水路が再度被災し全壊

若松農林水産部長

水利施設については、原形復旧にとどまりず、受益者負担の軽減を図りつつ、機能を高めた施設の整備を検討していきたいと考えております。

榎津

重複災害を受けないように機能強化に取り組んでいただきたい。

榎津

これまで吉村知事は、農林水産業生産額3,000億円と目標を掲げ、6次産業化など様々な支援を実施してきましたが、生産額の現状は？

若松農林水産部長

平成21年11月に農林水産業元気再生戦略を策定し、平成24年までに農林水産業を起点とする生産額を3,000億円にするという目標を掲げ、本県農林水産業の底上げを図り、元気な農林水産業の再生を目指してきました。その結果、生産額は着実に増加し、平成24年の生産額は、農業で2,350億円となり、全国で12位までに盛り返しており、農林水産物の2,609億円に6次産業化等による附加価値額を加えると、目標額を達成する見込みとなっています。



南陽市宮内 吉野川厨川堰／昨年被災し復旧した取水口が流失